

# 第3学年 算数科学習指導案

日 時 平成22年11月19日 (金)

場 所 2・3年教室

授業者

## 1 単元名 「小数」

## 2 単元の目標

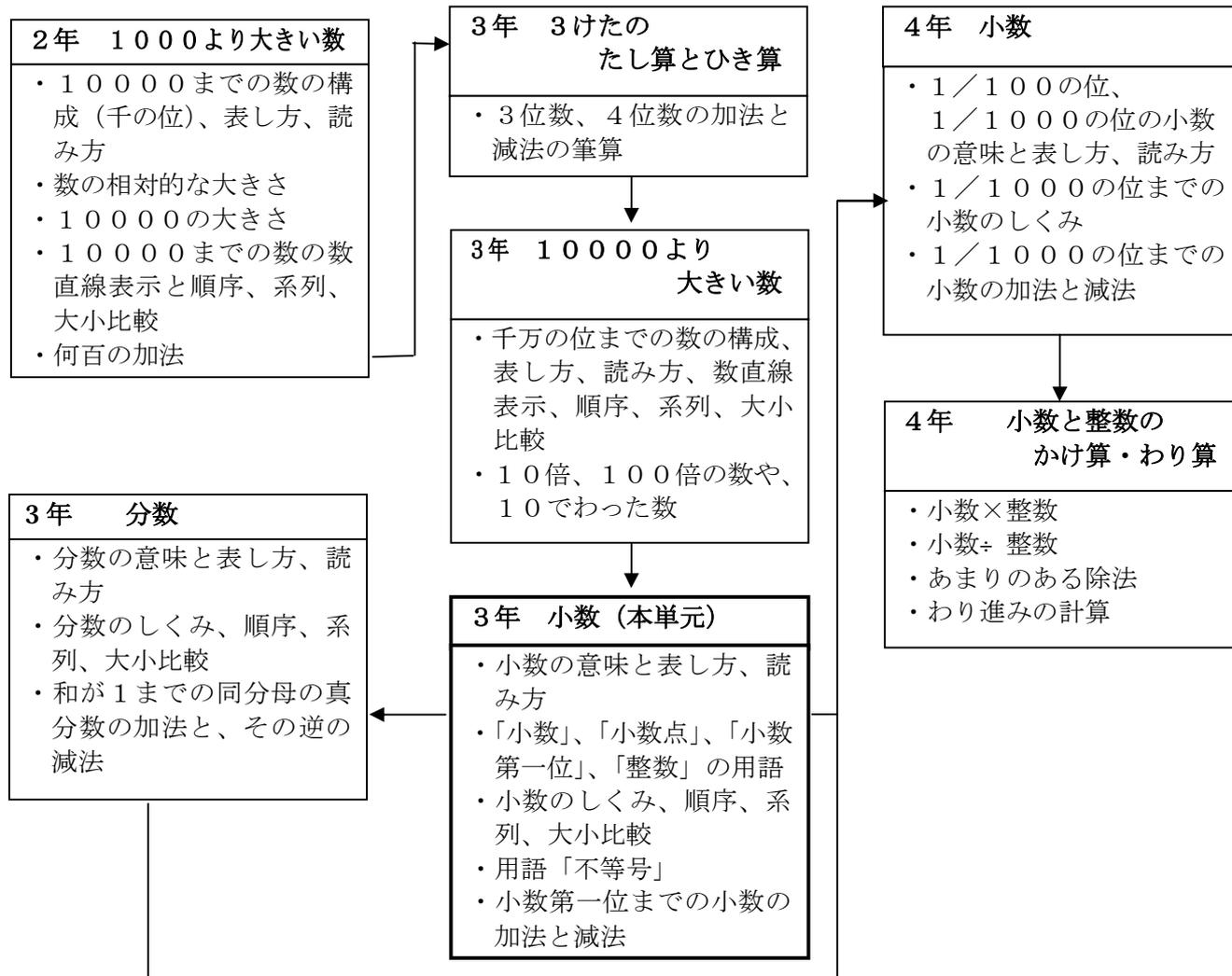
- (1) 小数の構成や加法、減法の計算方法を知り、日常生活に用いようとする意欲をもつ。
- (2) かさの測定の操作を通して、端数部分の大きさを表すのに小数が用いられることを知り、小数の表し方、読み方を理解する。
- (3) かさや長さを小数を用いて1つの単位で表すことができる。
- (4) 「小数」、「小数点」、「整数」の用語とそれらの意味を知り、正しく使うことができる。
- (5) 「小数第一位」、「数直線」の用語とそれらの意味を理解し、小数を数直線上に表したり、数直線に表された小数を読んだりできる。
- (6) 小数の構成や順序、系列について理解するとともに大小比較ができる。
- (7) 「不等号」の用語とその意味を理解し、小数の大小を不等号を用いて表すことができる。
- (8) 小数第一位までの小数の加法、減法の計算原理や方法を理解し、計算することができる。

## 3 関連と発展

【平成21年度】

【平成22年度】

【平成23年度】新課程



#### 4 指導にあたって

##### (1) 教材観

本単元の構成と、「学習指導要領」との関連は、次のようになっている。

\* 現学習指導要領

①はしたの大きさの表し方

②小数のしくみ

< A (4) > 小数の意味とその表し方について理解するとともに、小数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。

ア 端数部分の大きさを表すのに、小数を用いること。また、小数の表し方及び  $1/10$  の位について知ること。

イ 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについて理解を深めること。

③小数のたし算とひき算

< A (4) >

ウ  $1/10$  の位までの小数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

本単元では、1リットルのはしたの大きさを1リットルを10等分したかきさの小数を用いて表すことにより、小数の意味や表し方について指導していく。また、長さについても小数を用いて表すことができるようにし、徐々に小数を数として見るように展開する。

小数を数として見るよりどころとして、小数が整数と同じ十進構造のしくみであること、順序や系列があること、大小比較ができること、加法・減法の計算ができることなどがあげられる。これらのことを順序よく学習できるように指導していきたい。

##### (2) 児童の実態

男子2人、女子3人の計5人である。算数の時間には、どの子も意欲的に学習に取り組み課題を解決しようとする前向きな姿勢が見られる。ただ、個々を見ると、「3けたのたし算とひき算」の単元では、筆算を書くとき定規を使わない子や、繰り上がりや繰り下がりや数字の横に書かない子、一桁の計算に指を使う子など様々である。そのため、1学期には、それぞれに個別に対応しながら計算の決まりやルールを確認しながら学習を進めてきた。また、授業の中では、表現し伝え合う力をつけるために、できるだけ多くの機会をとらえてペア交流や全体の前で発表する場を位置づけてきた。そのことにより児童は少しずつではあるが、自分の考えに自信を持って発表することができるようになってきた。

本単元小数で児童ははじめて1より小さい数を学習することになる。児童はこれまでに、十進位取り記数法により10集まると1つ上の位になることは学習している。ここでは、それらの学習を生かし逆に1を10等分した数の大きさの表し方を教え、0.1をもとにした考え方を大切にしていきたい。

本時は小数の減法の計算の場面である。0.1をもとにする考え方をすれば、小数の計算が整数の計算と同じようにできることや、計算だけでなくリットル図を操作させながら説明ができるよう指導援助する。

#### 5 研究主題に関わって

### 主体的に学び、筋道立てて表現できる子の育成 ～仲間との関わりを通して～

研究内容①

主体的に学ぶための指導・援助の工夫

4月からの取り組みにより、問題提示から立式まではおおよそ自分で考え進められるようになってきている。課題づくりについては、前の時間と同じところや違うところ（課題づくり）という流れの中で、違うところから本時で解決すべき課題をつくるという意識もできつつある。このように主体的な学習ができるように、本時は以下の手立てを行う。

① 自分たちで主体的な学習を行うために

手立て①：算数コーナーの活用

既習学習「小数のたし算」から本時の課題をつくる際の参考にできるように掲示をする。前の時間がたし算であったことから本時の学習についても予想はできると考えるが、困ったときには比べられるように促す。

② 小数のひき算を考えていく場面で

つまずき① 「0.6リットルや0.2リットルという数量でどう計算すればよいかわからない。」

手だて①算数コーナーの活用 助言

・「小数のたし算のときは、どんな計算をしたかな？」

つまずき② 「答えは出せるが、どうして6－2になるかわからない。」

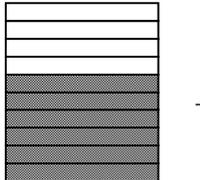
手だて②算数コーナーの活用 助言

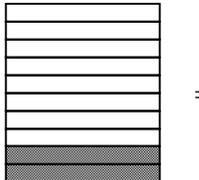
・「たし算の時、小数のままでは計算がわかりにくいのでどうしたのかな？」

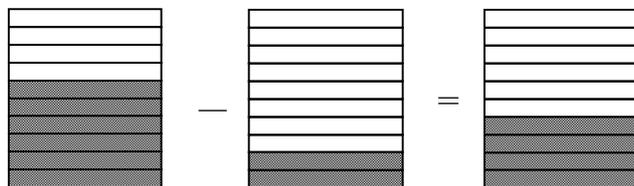
・「何をもとにして考えていくとよいでしょう？」「はじめは何がなんこ分ありましたか？」

「使った牛乳は何が2こ分ですか？」

手だて③「リットル図を見せて数量がイメージできるようにする。」

・「は、何をあらわしているのでしょうか。」

・「がいくつ分になるのでしょうか。」



0.6 - 0.2 = 0.4

研究内容②

適切に表現するための指導・援助の工夫

つまずき① 「答えはだせるが、言葉で説明できない。」

手立て①「計算を行った後、順序を表す言葉を使ってノートに書く。」

「順序を表す言葉につなげて自分の考えを書く。」

0.6 - 0.2の計算は、  
はじめに、  
0.6は、0.1が□こ  
つぎに、  
0.2は、0.1が□こ  
それで、  
0.6 - 0.2は  
□ - □ = □  
だから、答えは□。

<めざす説明の表現・計算>

0.6 - 0.2の計算は、  
はじめに、0.6は0.1が6つ分。  
つぎに、0.2は0.1が2つ分。  
それで、6 - 2は4です。4は、0.1が4つ分  
だから、0.6 - 0.2 = 0.4になります。

←ヒントカードは、必要な児童が取りに来る。  
□には、数を入れる。

\*この表現に近づけるための教師の言葉

- ・「たし算のときに使った言葉使えそう？」
- ・「0.6は何がいくつあるの？」(0.1が6つ分)
- ・「小数だけどひくときは、どんな数でひいた？」(整数にする。)
- ・「答えの4はそのままでいいの？」(0.1が4つ分だから0.4)

つまずき②「計算はできるが、図で操作して説明できない」  
手立て② 「リットル図を用意して操作しながら説明できるようにする。」

<めざす説明の表現・リットル図>

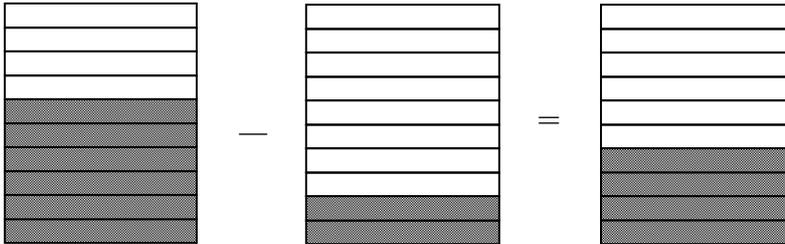
**0.6 - 0.2の計算は、**

はじめに、0.6は  が6こあります。

つぎに、0.2は  が2こあります。

それで、6 - 2は4です。1つのめもりは0.1リットルなので

だから、0.6 - 0.2は、  4こで0.4になります。



\*この表現に近づくための教師の個別指導

- ・「リットル図を使って説明してみようね。」
- ・「 は、言葉で言うと何？」（0.1が6つあります。）
- ・「実際に動かしてみて。」「ひくとはどうするの？実際に動かしてみて？」
- ・「ひき算をするときに、何をもとに考えたのかな？」

6. 単元指導計画 「小数」(9時間)

概観	時	本時のねらい	主な学習活動	評価規準
1 はしたの大きさの表し方	1	<p>かさの測定の操作活動を通して、端数部分の大きさを表すのに、小数が用いられることを知り、小数の表し方と読み方を理解することができる。 また、「小数」、「小数点」、「整数」の用語とそれらの意味を理解する。</p>	<p>1. 問題を理解する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     ポットに入っている水のかさを、1リットルまではかったら、上のように2リットルとあと少しはしたがありました。水のかさは、全部で何リットルといえいいでしょう。                 </div> <p>2. 課題をつくる</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     はしたもあわせて、リットルで表す方法を考えよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1リットルを10等分した1つ分のかさを0.1リットルという。</li> </ul> <p>3. 自分なりの考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目盛りをつけて、0.1のいくつ分になるか考える。</li> </ul> <p>4. 考えを交流し深める。(ペア・全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流し、2リットルと0.3リットルをあわせたかさの表し方について理解する。</li> </ul> <p>5. 確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別の問題で確認する。(図で、色ぬりなど)</li> </ul> <p>6. まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     はしたもあわせてリットルで表すには、0.1のいくつ分になるかを考えれば、小数で表せる。                 </div> <p>7 練習問題 8 振り返る。</p>	<p>&lt;数学的な考え方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1リットルに満たないはしたのかさの表し方に関心を持ち、どのように表したらよいかを考えることができる。</li> </ul> <p>&lt;表現・処理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かさを小数を用いて単名数で表すことができる。</li> </ul> <p>&lt;知識・理解&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・端数部分を小数で表す表し方や読み方がわかり、また、「小数」、「小数点」、「整数」の用語とそれらの意味がわかる。</li> </ul>
	2	<p>複名数で表されている長さを単名数で表す算数的活動を通して、長さの場合でも小数が用いられることを理解し、単名数で表すことができる。</p>	<p>1. 問題を理解する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     下のテープの長さは何cmといえいいでしょう。                 </div> <p>2. 課題をつくる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     テープの長さを1つの単位で表す方法を考えよう。                 </div> <p>3. 自分なりの考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1cmを10等分した1つ分が1mmであることから、前時のかさと同様に小数が使えないか考える。</li> </ul> <p>4. 考えを交流し深める。(ペア・全体)</p> <p>5. 確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1mm=0.1cmであることを押さえる。</li> </ul> <p>6. まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     長さを1つの単位で表すには、かさと同じように小数を使えばよい。                 </div> <p>7. 練習問題 P29の鉛筆3 8. 振り返る。</p>	<p>&lt;表現・処理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複名数で表された長さを小数を用いて単名数で表すことができる。</li> </ul>

2 小数のしくみ	3	<p>数直線上に小数を表す活動を通して、小数第一位を最小目盛りとする数直線の意味を理解するとともに、数直線上に小数を表したり、数直線に表された小数を読んだり、小数の十進構造を理解したりすることができる。</p>	<p>1. 問題を理解する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">0.7リットルと2.6リットルを下の数の線に表しましょう。</p> <p>2. 課題をつくる</p> <p style="border: 3px double black; padding: 5px; display: inline-block;">0.1のいくつ分になるか考えて、数の線に表そう。</p> <p>3. 自分なりの考えをもつ。 ・1目盛りは0.1を押さえる。</p> <p>4. 考えを交流し深める。 ・どのように表したかを数直線を使って説明する。</p> <p>5. 確かめる。 ・2.4について調べる。</p> <p>6. まとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">数の線は「数直線」といい、小数は0.1を1目盛りとして、数直線に表すことができる。</p> <p>7. 練習問題 P 31 鉛筆 1、2</p> <p>8. 振り返る。</p>	<p>&lt;表現・処理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線上に小数を表したり、表された小数を読んだりすることができる。</li> </ul> <p>&lt;知識・理解&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小数第一位」、「数直線」の用語とそれらの意味や小数十進構造がわかる。</li> </ul> <p>&lt;興味・関心&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数を数直線上に表す方法に興味関心を持ち、進んで小数について調べようとする。</li> </ul>
	4	<p>小数を数直線上に表し比較する活動を通して、小数の十進構造や順序、系列について理解し、不等号の記号を使って小数の大小比較をすることができる。</p>	<p>1. 問題を理解する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">3.9と4.1では、どちらが大きいでしょう。</p> <p>2. 課題をつくる。</p> <p style="border: 3px double black; padding: 5px; display: inline-block;">数直線を使って小数の大きさのくらべ方を考えよう。</p> <p>3. 自分なりの考えをもつ。 ・数直線の上に並んだ数より大小比較する。</p> <p>4. 考えを交流し深める。 ・数字だけで大小の比較ができることを知る。</p> <p>5. 確かめる。 ・1.2 0.8 2.1 0.5 1を小さい順に並べる。</p> <p>6. まとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">小数も数直線の右に表した数の方が大きい。小数も、0.1のいくつ分と考えれば、整数と同じように上の位から見て、大きさを比べることができる。</p> <p>7. 練習問題 P 31 鉛筆 3</p> <p>8. 振り返る。</p>	<p>&lt;表現・処理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数の大小比較ができる。</li> </ul> <p>&lt;知識・理解&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「不等号」の用語とその意味がわかる。</li> </ul>
	5	<p>小数の加法の仕方を考える活動を通して、単位小数(0.1)のいくつ分で考えれば整数の加法に帰着できることに気づき、計算方法を理解し正</p>	<p>1 問題を理解する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">ジュースが0.5リットル入っているパックと0.3リットル入っているパックがあります。合わせると、何リットルになるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題からたし算であることを確かめる。 (しき) <math>0.5 + 0.3 =</math></li> </ul>	<p>&lt;数学的な考え方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0.1のいくつ分という見方をもとにして小数の加法の計算方法を説明することができる。</li> </ul>

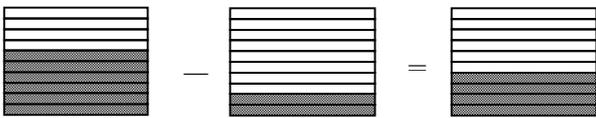
<p>3 小数のたし算とひき算</p>		<p>しく計算することができる。</p>	<p>2. 課題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>小数のたし算のしかたを考えよう。</p> </div> <p>3. 自分なりの考えをもつ。        ・リットル図を使う。</p> <p>4. 考えを交流し深める。        ・考えた計算方法を交流し、計算方法を理解する。</p> <p>5. 確かめる。        ・例題で確かめる。</p> <p>6. まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>小数のたし算の計算は0.1がいくつ分あるかを数え、整数のたし算と同じように計算すればよい。</p> </div> <p>7. 練習問題 P 3 2 鉛筆1        8. 振り返る</p>	<p>&lt;表現・処理&gt;        ・小数第一位までの小数の加法の計算ができる</p> <p>&lt;知識・理解&gt;        ・小数第一位までの小数の加法の計算のしかたを理解することができる。</p>
<p>6 (本時)</p>		<p>小数の減法の仕方を考える活動を通して、単位小数(0.1)のいくつ分であれば整数の減法と同じように計算できることに気づき、小数第1位までの減法の計算ができる。</p>	<p>1. 問題を理解する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>牛にゆうが0.6リットルあります。ケーキをつくるのに、0.2リットル使いました。のこりは何リットルでしょう。</p> </div> <p>・「使う」「のこり」からひき算であることを確かめる。        (しき) <math>0.6 - 0.2 =</math></p> <p>2. 課題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>小数のひき算のしかたを考えよう。</p> </div> <p>3. 自分なりの考えをもつ。        ・整数にしてひき算にする。        ・リットル図を使う。</p> <p>4. 考えを交流し深める。        ・考えた計算方法を交流し、小数の計算方法を理解する。</p> <p>5. 確かめる。        ・例題で確かめる。 <math>1.2 - 0.7 =</math></p> <p>6. まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>小数のひき算の計算は0.1がいくつ分あるかを数え、整数のひき算と同じように計算すればよい。</p> </div> <p>7. 練習問題 P 3 3 鉛筆2        8. 振り返る。</p>	<p>&lt;数学的な考え方&gt;        ・0.1のいくつ分という見方をもとにして小数の減法の計算方法を説明することができる。</p> <p>&lt;表現・処理&gt;        ・小数第一位までの小数の減法の計算ができる</p>
<p>7</p>		<p>小数の加法の仕方を考える活動を通して、単位小数のいくつ分であれば整数の加法に帰着できることに気づき、筆算での計算方</p>	<p>1. 問題を理解する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>スポーツドリンクが3.5リットル入っている入れものと、2.8リットル入っている入れものがあります。合わせて何リットルあるでしょう。</p> </div> <p>・問題からたし算であることを確かめる。        (しき) <math>3.5 + 2.8 =</math></p>	<p>&lt;数学的な考え方&gt;        ・小数のしくみと、小数の加法の筆算を関連づけて考えることができる。</p>

3	小数のたし算とひき算	法を理解し正しく計算することができる。	<p>2. 課題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           小数のたし算の筆算の仕方を考えよう。         </div> <p>3. 自分なりの考えをもつ。          ・筆算をかいて考える。</p> <p>4. 考えを交流し深める。          ・考えた計算方法を交流し、筆算での計算方法を理解する。</p> <p>5. 確かめる。          ・例題で確かめる。</p> <p>6. まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           小数のたし算のひっ算は、小数点の位をそろえて、整数のたし算と同じように計算すればよい。答えの小数点は、上の小数点にそろえてうつ。         </div> <p>7. 練習問題 P 3 4 鉛筆 3</p> <p>8. 振り返る。</p>	<p>&lt;表現・処理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数第一位までの小数の加法の計算が筆算でできる。</li> </ul> <p>&lt;知識・理解&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数第一位までの小数の加法の筆算のしかたを理解することができる。</li> </ul>	
		8	<p>小数の減法の仕方を考える活動を通して、単位小数のいくつ分で考えれば整数の減法に帰着できることに気づき、筆算での計算方法を理解し正しく計算することができる。</p>	<p>1. 問題を理解する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           スポーツドリンクを6.3リットルもってきました。4.7リットルのんだあと、何リットルのこっているでしょう。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題からひき算であることを確かめる。 (しき) <math>6.3 - 4.7 =</math></li> </ul> <p>2. 課題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           小数のひき算の筆算の仕方を考えよう。         </div> <p>3. 自分なりの考えをもつ。          ・筆算をかいて考える。</p> <p>4. 考えを交流し深める。          ・考えた計算方法を交流し、筆算での計算方法を理解する。</p> <p>5. 確かめる。          ・例題で確かめる。</p> <p>6. まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           小数のひき算のひっ算は、小数点の位をそろえて、整数のひき算と同じように計算すればよい。答えの小数点は、上の小数点にそろえてうつ。         </div> <p>7. 練習問題 P 3 5 鉛筆 4</p> <p>8. 振り返る</p>	<p>&lt;数学的な考え方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数のしくみと、小数の減法の筆算を関係付けて考えることができる</li> </ul> <p>&lt;表現・処理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数第一位までの小数の減法の計算の筆算ができる。</li> </ul> <p>&lt;知識・理解&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数第一位までの小数の減法の筆算のしかたを理解することができる。</li> </ul>
4	まとめよう	9	<p>単元における基礎・基本を確認にし、数学的な考え方をより深めることができる。</p>	<p><b>P 3 6</b> のれんしゅうをする。</p>	<p>&lt;表現・処理&gt;</p> <p>今までの学習を振り返り問題を正しく解くことができる。</p>

7. 本時のねらい

小数の減法の仕方を考える活動を通して、単位小数（0.1）のいくつ分で考えれば整数の減法と同じように計算できることに気づき、小数第1位までの減法の計算ができる。

8. 本時の展開（6／9時間）

	学習のねらい	学習活動	指導・援助
つ か む	<p>問題を理解し、本時の学習の見通しをもつことができる。</p> <p>課題をつくることができる。</p>	<p>1. 問題を理解する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>牛乳が0.6リットルあります。 ケーキをつくるのに、0.2リットル使いました。 のこりは何リットルでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「使い」「のこりは」から、ひき算であることを確認する。 (しき) <math>0.6 - 0.2 =</math></li> <li>・前時のたし算の学習内容と比較する。</li> </ul> <p>2. 課題をつくる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>小数のひき算のしかたを考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・答えがどれくらいになるか見当をつける。</li> </ul> <p>3. 個人追究する。</p> <p>①式で考える。 <math>0.6 - 0.2 = 0.4</math></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習を想起させたり、実物を用意したりするなどして今日の学習への意欲につなげる。</li> <li>・前の時間の加法の学習の足跡を算数コーナーに位置づけ解決の見通しにつなげる。</li> <li>・小数で表された量が理解しにくい子に必要なに応じて、リットル図をかいたプリントを用いる。</li> </ul>
考 え る	<p>自分なりの方法で課題を追究し、筋道立てて表現することができる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;めざす説明の表現・計算&gt; <b>0.6 - 0.2の計算は、</b> はじめに、0.6は0.1が6こあります。 つぎに、0.2は0.1が2こあります。 それで、6 - 2は4です。4は0.1が4こ分。 だから、のこりは0.4リットルです。</p> </div> <p>②リットル図で考える。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <math>0.6 \quad - \quad 0.2 \quad = \quad 0.4</math> </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;めざす説明の表現・リットル図&gt; <b>0.6 - 0.2の計算は、</b> はじめに、0.6は <span style="background-color: gray; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> が6こあります。 つぎに、0.2は <span style="background-color: gray; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> が2こあります。 それで、6 - 2は4です。 だから、0.6 - 0.2は、 <span style="background-color: gray; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> が4こで0.4になります。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア交流で自分の考えを相手に伝え、順序よく相手にわかるように表現できるか練習する。順序を表す言葉が使えているかをチェックする。</li> <li>・図と式を全体交流の中でつなぎ合わせることで、本時のねらいにせまる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>&lt;数学的な考え方&gt; 0.1のいくつ分という見方をもとにして、小数の減法の計算方法を説明することができる。</p> </div>
深 め る  ま と め る  確 か め る	<p>ペア交流や全体交流を通して、考えを深めることができる。</p> <p>小数のひき算の計算の仕方を理解し練習問題に取り組むことができる。</p>	<p>4. ペア交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筋道立てて小数の減法の原理や計算の仕方を説明する。</li> </ul> <p>5. 全体交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えと比べながらお互いの説明を聞き、同じ考えのもとになっている部分を見つける。</li> </ul> <p>6. 例題で確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>1.2 - 0.7</math> の計算をする。</li> </ul> <p>7. まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>小数のひき算の計算は0.1がいくつ分あるかを数え、整数のひき算と同じように計算すればよい。</p> </div> <p>8. 練習問題をする。</p> <p>① <math>0.9 - 0.7</math>   ② <math>1.6 - 0.8</math>   ③ <math>1 - 0.9</math></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できたらさらに練習問題を進める。</li> </ul> <p>9. 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習問題を通して、1から引く場合や繰り下がりのある計算の場合について理解できるようにする。</li> </ul> <p>&lt;人権同和教育の観点&gt; 仲間の意見をしっかりと聞き、ハンドサインで応えることができる。</p>